【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和2年3月19日(2020.3.19)

【公表番号】特表2019-500965(P2019-500965A)
【公表日】平成31年1月17日(2019.1.17)
【年通号数】公開・登録公報2019-002
【出願番号】特願2018-535022(P2018-535022)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　2/24　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　2/24

【手続補正書】
【提出日】令和2年2月3日(2020.2.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
流出端の反対側に流入端を有する人工弁であって、
ルーメンを画定するステントフレームと、
前記ルーメン内に配設され、流入側及び前記流入側の反対側の流出側を画定するように構成された弁構造であって、流出路が、前記流出側の下流の前記ルーメン内に確立され、前記流出路に沿って前記弁構造からの流体の流れが進行する前記弁構造と、
前記流出側の下流で前記ステントフレームに接続されたバッフル構造と、
を備えたことを特徴とする人工弁。
【請求項２】
前記バッフル構造は、前記流出側のすぐ下流の血流内へ層流を促すように構成され、かつ位置している、請求項１に記載の人工弁。
【請求項３】
前記バッフル構造は、前記弁構造の前記流出側における血流の自然な流れプロファイルを操作するように構成されている、請求項１に記載の人工弁。
【請求項４】
前記バッフル構造は、前記自然な流れプロファイルの少なくとも１０％を中断するように構成されている、請求項３に記載の人工弁。
【請求項５】
前記ルーメンは直径を有し、更に、前記バッフル構造は、前記直径の全体未満にわたって突出する第１のバッフル部材を含む、請求項１に記載の人工弁。
【請求項６】
前記バッフル構造は、前記ルーメン内へそれぞれ突出する複数のバッフル部材を更に含む、請求項１に記載の人工弁。
【請求項７】
前記複数のバッフル部材は、前記ステントフレームの円周の周囲に位置している、請求項６に記載の人工弁。
【請求項８】
前記バッフル部材は、等距離で離間配置されている、請求項７に記載の人工弁。
【請求項９】

前記バッフル部材は、長手方向に整列している、請求項７に記載の人工弁。
【請求項１０】
前記バッフル部材のうちの少なくとも１つは、前記ステントフレームの長手方向軸に対してある角度で配置されている、請求項７に記載の人工弁。
【請求項１１】
前記バッフル部材のそれぞれは、前記ステントフレームの反対側の前縁部で終端し、更に、前記バッフル部材のうちの少なくとも１つの前記前縁部が湾曲している、請求項７に記載の人工弁。
【請求項１２】
前記バッフル部材のうちの少なくとも１つは、パドルである、請求項７に記載の人工弁。
【請求項１３】
前記ステントフレームは、前記人工弁の前記流出端を画定し、更に、前記バッフル構造は、前記ステントフレームの前記流出端と前記弁構造の前記流出側との間に位置している、請求項１に記載の人工弁。
【請求項１４】
前記人工弁は、人工心臓弁である、請求項１に記載の人工弁。
【請求項１５】
前記人工弁は、人工僧帽弁である、請求項１に記載の人工弁。